

PASMOは

3月18日（日）サービスを開始します

—— 鉄道23事業者、バス31事業者が導入し、順次拡大してまいります ——

P A S M O 協 議 会
株 式 会 社 パ ス モ

PASMO協議会加盟事業者は、新しい交通ICカード「PASMO」のサービスを、2007年3月18日（日）より開始します。なお、「PASMO」はSuicaとの相互利用が可能となります。

同日よりサービスを開始するのは、鉄道23事業者とバス31事業者（74営業所、約4,500両）です。今後さらに導入事業者、路線を拡大し、首都圏101の事業者でのご利用が可能になります（別紙参照）。

「PASMO」のサービス開始により、お客さまはパスネット、バス共通カード、Suicaを使い分ける必要がなくなり、首都圏の鉄道・バスの利便性は飛躍的に向上します。

なお、「PASMO」は株式会社パスモ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：大垣雅則）が発行し、PASMO協議会加盟事業者（以下、PASMO事業者）が発売します。発行枚数は、07年度末までに500万枚、09年度末までに800万枚を目指しております。

株式会社パスモおよびPASMO事業者は、ロボットのキャラクターを採用し、今後「PASMO」の認知度向上のためのPRをしてまいります。

サービスの内容などは次ページ以降をご覧ください。なお、いずれのサービスもサービス開始時より実施いたします。

- ・ PASMOの発売（2🔗参照）
- ・ PASMO事業者におけるSFでのご乗車、定期券としてのご利用サービス（2～3🔗参照）
- ・ PASMO事業者の駅におけるPASMOオートチャージサービス（4🔗参照）
- ・ PASMO加盟店におけるPASMO電子マネーサービス（4🔗参照）
- ・ Suicaとの相互利用サービス（4🔗参照）
- ・ PASMOキャラクター登場（5🔗参照）

※SF（ストアードフェア）とは、交通ICカードに記録される金銭的価値で、旅客運賃の支払い、乗車券等との引き換え、電子マネーに充当するものをいいます。

1. サービスの開始

- ・2007年3月18日（日）始発より

2. P A S M O の発売

(1) 発売開始

- ・2007年3月18日（日）より

(2) 発売金額

- ・1,000円～20,000円（デポジット込）

※発売の際には、デポジット（500円）を申し受けます。デポジットはP A S M O 払戻しの際に返金します。

(3) 発売箇所

- ・P A S M O 事業者の駅、バス営業所、バス案内所等

(4) カードの種類

①記名P A S M O

- ・氏名、性別、生年月日、電話番号を登録していただき、大人用または小児用を発売します。小児用で、S F でのご乗車の際は小児運賃が適用されます。
- ・大人用、小児用とも定期券を載せることができます。
- ・記名P A S M O を紛失した場合には、お近くの駅やバス窓口にお申し出いただければ、再発行の手続きをいたします。再発行時には利用停止日の最終のS F 残額を保障します。なお、紛失再発行にはご本人を確認する書類と、紛失再発行手数料（500円）が必要です。

②無記名P A S M O

- ・氏名などの登録はなく、どなたでもご利用いただけます。ただし、大人運賃のみの適用です。

3. P A S M O のご利用方法

(1) 鉄道におけるS F の利用

- ・自動改札機にP A S M O をタッチすることで、S F から自動的に運賃を差し引きます（入場時に初乗り運賃は差し引きません）。
- ・定期区間外から乗車した場合や、定期区間から乗り越した場合にも、自動的に運賃を計算し、精算金額を差し引きます。

(2) バスにおけるS F の利用

- ・バス車載機にP A S M O をタッチすることで、S F から自動的に運賃を差し引きます。

(3) S F のチャージ

- ・駅の自動券売機やバス車載機などでチャージができます。チャージの上限金額は2万円です。

(4) P A S M O 定期券の発売

- ・記名P A S M O に鉄道およびバスの定期券を発売します。両方の定期券を一枚のP A S M O に載せることが可能です。
- ・無記名P A S M O にバスの持参人式定期券を発売します。
注：バス定期券の発売は、2007年3月時点では東京都交通局のみ実施いたします。
- ・P A S M O 鉄道事業者は、P A S M O をお持ちのお客さまに、
 - a) 自社路線定期券
 - b) 自社路線と他社路線（S u i c a 事業者を含む）にまたがる鉄道連絡定期券

を発売いたします。連絡定期券の発売範囲は、現行の磁気連絡定期券の範囲となりますが、現在、連絡定期券を発売していない多摩都市モノレール、ゆりかもめ、横浜新都市交通の3社で新たに連絡定期券を発売します。

注: P A S M O に S u i c a 事業者の単独定期券(もしくは S u i c a 事業者間の連絡定期券)は発売できません。この場合は S u i c a での発売となりますので、 S u i c a 事業者でお求めください。

(5) S F 残額履歴

- ・駅の券売機や窓口、バス営業所で S F を利用された際の履歴が確認できます。

4. バス利用特典サービス

- ・ P A S M O でのバスご利用のサービスとして、「バス利用特典サービス (以下、「バス特」)」を実施します。1 カ月間 (毎月 1 日 ~ 末日) のバス利用額に応じて、バス運賃のお支払いに利用できる「特典バスチケット」を提供するサービスです。また、「バス特」は、当サービスを実施する事業者で共通にご利用いただけます。
- ・「バス特」の内容は次のとおりです。
 - ① 1 回のご利用ごとに、 S F 支払い額を対象として、各バス事業者が個々に設定する「バスポイント」を P A S M O に付与します。
 - ② 1, 0 0 0 バスポイントごとに、自動的に「特典バスチケット」を P A S M O に付与します。(下表参照)
 - ③ 「特典バスチケット」は、次回のバス利用時に、自動的に運賃として使用されます。ただし、「バス特」適用車両に限ります。
 - ④ P A S M O 内に累積記録される「バスポイント」は 1 0, 0 0 0 ポイントごとに繰り返されます。
 - ⑤ 「特典バスチケット」の有効期間は、1 0 年間です。

バスポイント	特典バスチケット	
	付与チケット	チケット累計
1, 0 0 0 ポイント累積時	1 0 0 円分	1 0 0 円分
2, 0 0 0 ポイント累積時	1 0 0 円分	2 0 0 円分
3, 0 0 0 ポイント累積時	1 0 0 円分	3 0 0 円分
4, 0 0 0 ポイント累積時	1 0 0 円分	4 0 0 円分
5, 0 0 0 ポイント累積時	4 5 0 円分	8 5 0 円分
6, 0 0 0 ポイント累積時	1 7 0 円分	1, 0 2 0 円分
7, 0 0 0 ポイント累積時	1 7 0 円分	1, 1 9 0 円分
8, 0 0 0 ポイント累積時	1 7 0 円分	1, 3 6 0 円分
9, 0 0 0 ポイント累積時	1 7 0 円分	1, 5 3 0 円分
1 0, 0 0 0 ポイント累積時	1 7 0 円分	1, 7 0 0 円分

- ・「バス特」実施事業者は次のとおりです。

伊豆箱根バス	江ノ島電鉄	小田急バス	小田急シティバス	神奈川中央交通
川崎市交通局	川崎鶴見臨港バス	臨港グリーンバス	関東バス	京王電鉄バス
京王バス東	京王バス中央	京王バス小金井	京成バス	京成タウンバス
京浜急行バス	羽田京急バス	横浜京急バス	国際興業	相模鉄道
西武バス	東急バス	東京都交通局	東武バスセントラル	東武バスウエスト
箱根登山バス	日立自動車交通	平和交通	横浜市交通局	

5. インターネットでのPASMO履歴照会サービス

- ・記名PASMOは、PASMOホームページ (<http://www.pasmo.co.jp>) にて、会員登録していただきますと、インターネットでもSF残額履歴の照会ができます。
- ・照会いただけるのは、3カ月前から前日までの、次の情報です。
 - ①定期券購入情報（鉄道定期券・バス定期券それぞれの最新1件）
 - ②SFの残額履歴（月日・利用種別・利用駅名・残額）
 - ③バスポイント・特典バスチケットの残高
- ・2007年3月19日（月）から会員登録できます。

6. PASMOオートチャージサービスと申込み受付の開始について

- ・駅の自動改札機にタッチして入場する際に、SF残額が2,000円以下の場合に、自動的に3,000円をチャージする、PASMOオートチャージサービスを実施します。
- ・オートチャージは、クレジットカードにより決済いたします。
- ・オートチャージサービスをご利用いただくには、株式会社パスモが指定するクレジットカード会社への事前お申し込みが必要です。クレジットカードは、株式会社パスモがクレジットカード会社と提携して発行するPastown（パスタウン）カードもしくは、交通事業者系のクレジットカードを、お申込み時にお選びいただきます。参考1をご参照ください。
- ・サービス開始にあたり、2007年2月3日（土）よりPASMOオートチャージサービスのお申し込み受付を開始します。

7. PASMO電子マネー

- ・PASMOは電子マネーとして、PASMO電子マネー加盟店でのお買い物に利用できます。
- ・PASMO電子マネー加盟店開拓事業者が駅構内の店舗、自販機や沿線の商業施設などの加盟店を募集しており、サービス開始時には、加盟店舗約700店、加盟自動販売機約600台を予定しております。
- ・1年後には約5,000店の加盟店数を目指しております。

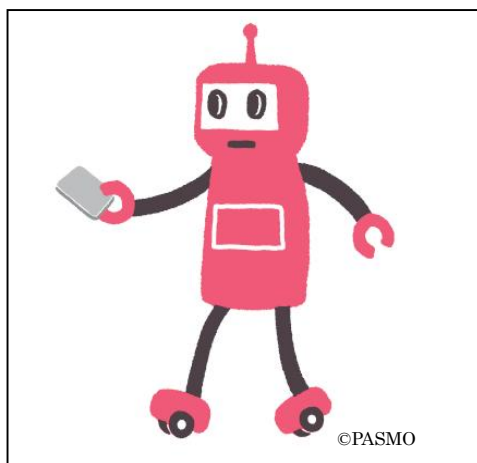
8. Suicaとの相互利用

- ・PASMOとSuicaは交通機関利用時の基本的なサービスを共通化し、どちらか一枚の交通ICカードがあれば、首都圏のほとんどの鉄道、バスをご利用いただくことが可能です。
 - ①PASMO、Suicaがご利用可能な交通機関において、どちらのカードでもご乗車、チャージ（オートチャージを含む）、バス利用特典サービスなどが利用できます。
 - ②PASMO鉄道事業者は、自社路線および自社路線を含む鉄道連絡定期券（Suica事業者路線との連絡定期券を含む）をPASMOに載せて発売します。
 - ③PASMOバス事業者（東京都交通局）は、PASMO、Suicaいずれにも、バス定期券を載せて発売します。
 - ④PASMO、Suicaそれぞれの電子マネー加盟店で、いずれのカードも電子マネーとしてご利用いただけます。

9. P A S M Oキャラクター登場

(1) P A S M Oのロボット プロフィール

- ・首都圏をキビキビ移動するのが大好きなロボットです。普段はおなかのポケットにしまっているP A S M Oを使って移動しますが、急いでいるときは自らバスや電車に変身して移動します。



(2) P A S M Oのロボット誕生の経緯

- ・P A S M Oの先進性、未来性を表象するキャラクターです。ロボットといっても決して無機質ではなく、「人に優しい」「便利」であるというイメージを持たせた、柔らかく親しみやすいキャラクターを誕生させました。また、電車もバスも乗れる拡張性を象徴し、さまざまなシーンにも対応した柔軟な姿で、P A S M O事業者の告知媒体などに登場します。

10. その他

(1) 大手鉄道事業者グループカードとの連携

- ・大手鉄道事業者は、自社路線ご利用のお客さまの多くにお持ち頂くことになるP A S M Oのサービス開始を契機に、各社の関連事業、関連サービスとの連携サービスを検討、推進してまいります。系列のグループポイントカードとの連携などがありますが、個々の事業者により内容は異なりますので、詳細は各事業者にお問い合わせください。

(2) パスネットの今後の扱いについて

- ・P A S M Oの普及状況を見ながら、お客さまにご迷惑のかからない時期にパスネットの発売を中止する方向で検討してまいります。

(3) バス共通カードの今後の扱いについて

- ・P A S M Oの普及状況を見ながら、バス共通カードの今後の扱いについて検討してまいります。

以 上

別紙

PASMO利用可能事業者

サービス開始時からご利用いただけるのは、以下のPASMO協議会加盟事業者（鉄道26事業者、バス75事業者）のうち、鉄道23事業者の全駅（伊豆箱根鉄道駿豆線を除く、1,142駅）とバス31事業者の一部路線です。同時にSuicaグループ5事業者でもご利用いただけます。なお、バス事業者では一部路線でサービスを開始し、順次利用可能路線を拡大してまいります。

鉄道事業者

当初からサービスを開始する事業者（23事業者）

伊豆箱根鉄道	江ノ島電鉄	小田急電鉄	京王電鉄	京成電鉄
京浜急行電鉄	埼玉高速鉄道	相模鉄道	首都圏新都市鉄道	新京成電鉄
西武鉄道	多摩都市モノレール	東京急行電鉄	東京地下鉄	東京都交通局
東武鉄道	東葉高速鉄道	箱根登山鉄道	北総鉄道	ゆりかもめ
横浜高速鉄道	横浜市交通局	横浜新都市交通		

2007年度以降導入予定の事業者（3事業者）

関東鉄道	千葉都市モノレール	舞浜リゾートライン
------	-----------	-----------

バス事業者

当初からサービスを開始する事業者（31事業者）

伊豆箱根バス	江ノ島電鉄※	小田急バス	小田急シティバス	神奈川中央交通
川崎市交通局	川崎鶴見臨港バス	臨港グリーンバス	関東バス	京王電鉄バス
京王バス東	京王バス中央	京王バス小金井	京成バス	京成タウンバス
京浜急行バス	羽田京急バス	横浜京急バス	国際興業	相模鉄道※
西武バス	東急バス	東京都交通局※	東武バスセントラル	東武バスウエスト
箱根登山バス	小田急箱根高速バス	日立自動車交通	フジエクスプレス	平和交通
横浜市交通局※				

2007年度以降導入予定の事業者（44事業者）

江ノ電バス	湘南神奈交バス	津久井神奈交バス	横浜神奈交バス	相模神奈交バス
藤沢神奈交バス	ケイビーバス	京王バス南	千葉中央バス	千葉海浜交通
千葉内陸バス	東京ベイシティ交通	ちばフラワーバス	ちばレインボーバス	ちばシティバス
ちばグリーンバス	京成トランジットバス	市川交通自動車	湘南京急バス	相鉄バス
西武自動車	西武観光バス	立川バス	シティバス立川	千葉交通
東急トランセ	朝日自動車	茨城急行自動車	国際十王交通	川越観光自動車
東武バスイースト	西東京バス	多摩バス	富士急行	富士急湘南バス
富士急山梨バス	富士急平和観光	富士急シティバス	富士急静岡バス	船橋新京成バス
習志野新京成バス	松戸新京成バス	団地交通	山梨交通	

PASMOがご利用いただけるバス車両には、次のステッカーを表示します。



導入予定事業者は合計101事業者です。

※の鉄道・バス両事業においてIC乗車券システムを導入する4事業者の重複を除いた合計は、97事業者です。

ご参考：PASMOでご利用できるSuica事業者（5事業者）

埼玉新都市交通	東京モノレール	東京臨海高速鉄道	東日本旅客鉄道	ジェイアールバス関東
---------	---------	----------	---------	------------

参考 1

PASMOオートチャージサービスのご利用申込み

オートチャージをご利用いただくためには、事前にお申し込みしていただく必要があります。

(1) お申し込み開始日

2007年2月3日(土)

(2) 申込書の受取り方法

2007年2月3日(土)から、PASMO発売事業者の駅等でお受取り、または、各クレジットカード会社にご請求ください。

(3) 決済用にお選びいただけるクレジットカード

※【 】内は発行事業者名または系列鉄道事業者名です。

Pastownカード

【株式会社パスモ】

- ・Pastownカード(JCB提携)
- ・Pastownカード(三井住友カード提携)
- ・Pastownカード(UFJカード提携)

交通事業者系カード

- ・小田急OPカード 【小田急電鉄株式会社】
- ・京王パスポートカード 【京王電鉄株式会社】
- ・京成カード(2007年2月3日募集開始予定) 【京成電鉄株式会社】
- ・京急カード 【京浜急行電鉄株式会社】
- ・相鉄カード(2007年2月3日募集開始予定) 【相模鉄道株式会社】
- ・プリンスカード(2006年9月以降発行分) 【西武鉄道株式会社】
- ・TOP&カード 【東京急行電鉄株式会社】
- ・Tokyo Metro To Me CARD(2006年度中発行予定) 【東京地下鉄株式会社】
- ・新銀行東京カード 【東京都交通局】
- ・東武カード 【東武鉄道株式会社】

(4) 申し込み方法

①すでに上記(3)の交通事業者系カードをお持ちのお客さまは、所定のオートチャージサービス利用申込書に必要事項をご記入後、必要書類を同封のうえ、申込書に記載の宛先に送付してください。約4週間後、オートチャージ機能付PASMOを郵送いたします。

②上記(3)のクレジットカードをお持ちでないお客さまは、上記の中からお選びいただいたクレジットカードとオートチャージサービス利用の申込書に必要事項をご記入後、必要書類を同封のうえ、申込書に記載の宛先に送付してください。約4週間後、クレジットカードとオートチャージ機能付PASMOを郵送いたします。クレジットカードとPASMOとは別々に郵送いたします。

※2月中にお申し込みされた場合、PASMOのお届けは2007年3月17日(土)以降となります。

参考2

運 営 組 織

(1) 株式会社パスモ

株式会社パスモが、PASMOの発行、PASMOシステムの運営を行います。

- ①事務所所在地 東京都新宿区
- ②資本金 3億2千万円
- ③株主 鉄道11事業者、バス19事業者
- ④設備投資額 約138億円
- ⑤その他 2004年2月9日、パスネット・バスICカード株式会社として設立
2005年12月21日、社名変更

(2) PASMO協議会

2004年より、PASMOのシステム、サービス内容、運用などについて検討、仕様決定など行っている、鉄道・バス事業者の協議団体です。情報セキュリティ確保、個人情報保護、システム検証、障害対応などについても、株式会社パスモとともに、徹底して取り組んでまいります。